

# 加賀電子本社 屋上ビオトープ 調査・管理報告書

活動日	2024年5月29日	天候	晴れ	活動時間	10:00~12:30
作業者	久保田 潤一	報告者	久保田 潤一		
目的	生物調査、ビオトープ管理				
内容					
<p><b>【作業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ビオトープの写真撮影</li><li>・水深の確認</li><li>・生物調査</li><li>・外来種のチェック</li><li>・池内の外来植物の駆除</li><li>・池内の繁茂しすぎた植物の草刈り</li></ul> <p><b>【生物調査の詳細】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ビオトープ創出時に導入した生物(ミゾコウジュ)も含め、生息・生育状況の調査を実施。</li><li>・導入したミゾコウジュは、ちょうど開花の最盛期であった。</li><li>・今回もシャジクモがビオトープ一面に繁茂していた。本種は環境省レッドリストで絶滅危惧II類の希少種である。</li><li>・トチカガミがランナーを伸ばし、池全体を覆うほどになっていた。</li><li>・新たな抽水植物として、ミコシガヤとイグサ科の一種を確認した。ミコシガヤは東京都レッドリストで準絶滅危惧(区部)の希少種である。</li><li>・イトトンボ科の成虫を確認した。羽化直後のテネラル个体だったため、まだ色が出ておらず、正確な種同定には至らなかったが、後日、長峰さんにお送りいただいた写真を見るとアジアイトトンボの可能性が高い。</li><li>・イトトンボ科の幼虫(ヤゴ)を確認した。現場で種の確定には至らなかったが、アジアイトトンボと思われる成虫の出現を確認したため、同種の幼虫である可能性が高い。</li><li>・ショウジョウトンボの幼虫が複数確認された。</li><li>・シオカラトンボの幼虫および羽化した際の抜け殻が多数確認された。</li><li>・外来種として、ニワゼキショウを1株確認した。</li></ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ビオトープの日当たりは良好で、水草の繁茂には申し分ない。</li><li>・一部でアオミドロが増えていたため、除去を行った。</li><li>・水深が浅いエリアでは、抽水植物の繁茂によって水面が見えにくい状態となっていた。そのため、根際部分から刈り取る管理作業を行った。一部は刈り取らずに残し、生物の生息に配慮しつつ水面が見える状態にした。これにより景観も改善した。</li><li>・トチカガミが繁茂しすぎて水面が少ししか見えない状態となっていたため、ある程度間引きを行った。</li><li>・外来種のニワゼキショウは、引き抜きによって駆除した。</li></ul>					



No. 1

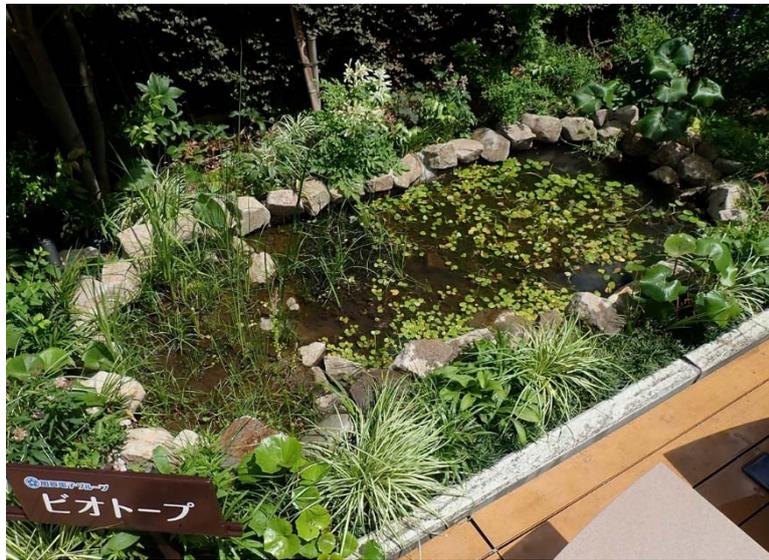
撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

管理作業前。

左側の浅いエリアは抽水植物の繁茂によって水面が見えない状態。



No. 2

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

管理作業後。

抽水植物は一部を除いて刈り取りを行った。水面が見えるようになり、景観も改善した。



No. 3

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

花の最盛期だったミゾコウジュ。環境省レッドリストで絶滅危惧II類の希少種である。



No. 4

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

トチカガミ勢いよく繁茂している。今回は増えすぎと判断して多少の間引きを行った。



No. 5

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

今回の調査で初めて確認されたミコシガヤ。東京都レッドリストで準絶滅危惧(区部)の希少種である。



No. 6

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

駆除した外来種のニワゼキショウ。



No. 7

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

アジアイトトンボと思われる成虫。テネラル(羽化直後)で色がまだ出ておらず、確実な種の判別には至らなかった。



No. 8

撮影日: 2024年5月30日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

長峰さんにお送りいただいた成虫の写真。羽化から時間が経過し、種固有の色と模様が出ているのがわかる。腹端の模様からアジアイトトンボの可能性が高い。



No. 9

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

ショウジョウトンボの幼虫



No. 10

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

シオカラトンボの幼虫



No. 11

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

イトトンボ科の一種の幼虫。アジアイトトンボの可能性が高い。



No. 12

撮影日: 2024年5月29日

撮影場所: 加賀電子屋上ビオトープ

解説

捕獲したヤゴ

加賀電子本社屋上ビオトープ 確認生物リスト

※今回調査での確認種に青色をつけています

分類	種名	経緯 ※別表1	希少性 ※別表2		外来種	備考	確認記録 2023年度			確認記録 2024年度		
			環境省	東京都 区部			7/10	7/29	10/10	5/29	7/27	
昆虫類	ヒメアメンボ	自然飛来					○	○				
	ミズギワカメムシ科の一種	自然飛来						○				
	アジアイトトンボ	自然飛来				成虫、幼虫を確認			○	○		
	シオカラトンボ	自然飛来				幼虫を確認	○			○		
	オオシオカラトンボ	自然飛来					○	○				
	ショウジョウトンボ	自然飛来				幼虫を確認		○	○	○		
	ウスバキトンボ	自然飛来						○				
	コカゲロウ属の一種	自然飛来					○	○				
	ヒメカメノコテントウ	自然飛来							○			
	ダンダラテントウ	自然飛来							○			
	トゲバゴマフガムシ	不明					○					
植物	ミゾコウジュ	導入	NT	VU		開花を確認	○	○	○	○		
	シャジクモ	発芽	VU	VU			○	○	○	○		
	コナギ	発芽						○	○			
	ツユクサ	発芽						○	○			
	アメリカアゼナ	発芽			○			○	○			
	ニワゼキショウ	発芽			○	2024/5/29に駆除				○		
	エノキグサ	発芽							○			
	トチカガミ	発芽	NT	EX				○	○	○		
	ガマ科の一種	発芽								○		
	フトイ	発芽							○	○		
	イグサ科の一種	発芽										
	カンガレイ	発芽		VU					○			
	カヤツリグサ	発芽							○			
	タマガヤツリ	発芽							○			
	ミコシガヤ	発芽		NT						○		
	カヤツリグサ科の一種	発芽					○	○	○	○		
メヒシバ	発芽							○				

※確認記録 ○:調査で確認 △:聞き取り等で確認

別表1 経緯について

導入	ビオトープの質の向上等を目的に、意図的に導入した生物
非意図的導入	土や水草などの移植に伴い、意図せずに入ってきた生物
自然飛来	ビオトープ創出後に周辺から自力で移動してきた生物
遺棄・放流	飼育されていたペットや園芸種などが捨てられたり、放流されたりしたもの
発芽	ビオトープに導入した土から自然に発芽した植物

別表2 希少性の表記について

表記	カテゴリー名称	基本概念
EX	絶滅	当該地域において、過去に生育・生息していたことが確認されており、飼育・栽培下も含めすでに絶滅したと考えられるもの
CR	絶滅危惧IA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
EN	絶滅危惧IB類	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
CR+EN	絶滅危惧I類	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
VU	絶滅危惧II類	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
NT	準絶滅危惧	現時点での絶滅危険性は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
DD	情報不足	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生育・生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られない
.	非分布	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの